

会員へのお知らせ目次

行事等予定	53頁
総合	
2022年度発足研究会 I および研究会 II 提案課題の採択結果	55頁
第31回 (2022年度助成開始) 鉄鋼研究振興助成受給者決定のお知らせ	55頁
「鉄と鋼」第108巻第12号特集号「鉄鋼材料の摩擦接合技術」原稿募集のご案内 (投稿締切: 2022年4月1日)	57頁
「ISIJ International」第63巻第7号特集号「Quantitative analysis and modeling of solidification phenomena related to macrosegregation and cast defect (マクロ偏析と鋳造欠陥に関する凝固現象の定量的解析及びモデリング)」原稿募集のご案内 (投稿締切: 2022年10月20日)	57頁
イベント情報	
鉄の技術と歴史研究フォーラム 第40回講演会 (ハイブリッド講演会)「幕末・明治期の鉄研究会 第1回講演会」開催案内	58頁
人材募集案内	59頁
次号目次案内	60頁
会員欄 (入会者・死亡退会者一覧)	61頁

行事等予定

太字は本会主催の行事。
 行事等の詳細は、本会ホームページ、★印はイベントカレンダーリンク先URLをご参照ください。
 他団体主催の行事は中止や延期になっていることもありますので、主催者等にご確認願います。

	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2022年1月			
7日	★第99回レアメタル研究会《リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)》(12号788頁)	東京大学生産技術研究所	岡部研 レアメタル研究会事務担当 宮崎 智子 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
11日	第183回春季講演大会 一般講演・予告セッション・共同セッション・学生ポスターセッション申込締切(11号694頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
11日	★MSJ講習会「パワー・マグネティクス基礎と応用」《Web開催》	日本磁気学会	事務局 Tel. 03-5281-0106 msj@bj.wakwak.com
13, 14日	★第44回 鉄構塗装技術討論会(東京)	日本鋼構造協会	Tel. 03-3516-2155 y.udagawa@jssc.or.jp
14日	★第15回 日本電磁波エネルギー応用学会研究会— マイクロ波・高周波による最新解凍技術—《オンライン研究会会場(Zoom)》	日本電磁波エネルギー応用学会事務局	事務局 佐藤容子 Tel. 03-3414-4554 office@jemea.org
18日	★腐食防食部門委員会第340回例会《オンライン開催》	日本材料学会	Tel. 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp
20, 21日	日本鉄鋼協会・日本金属学会 両北海道支部 合同冬季講演大会《オンライン開催》	日本鉄鋼協会、 日本金属学会 北海道支部	日本金属学会北海道支部事務局 石田洋平 jim_hokkaido@eng.hokudai.ac.jp
21日	★第25回塑性加工基礎講座《Web開催》	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
22日	★第27回高専シンポジウムオンライン《Microsoft Teamsによるオンライン会議》	高専シンポジウム協議会	高専シンポジウム実行委員会 事務局 Tel. 0859-24-5161 jimu@kosensympo.onmicrosoft.com
24, 25日	★第29回超音波による非破壊評価シンポジウム《WEB会議》	日本非破壊検査協会	学術課 中村芳江 Tel. 03-5609-4015 nakamura@jsndi.or.jp
26日	★第34回技術研修会《Web開催》	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
27日	★第345回塑性加工シンポジウム「人工知能、機械学習、深層学習~AIの活用で開発工数削減へ~」《Web》	日本塑性加工学会	吉武明英 Tel. 03-3435-8301 yoshitake@jstp.or.jp
27, 28日	★第50回ガスタービンセミナー《オンライン開催》	日本ガスタービン学会	事務局 Tel. 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.or.jp
28日	★熱切断作業の品質と安全講習会《溶接会館及びオンライン(WEB)》(東京)	日本溶接協会及び全国厚板シヤリング工業組合	日本溶接協会 業務部 染谷直登 Tel. 03-5823-6324 naoto_someya@jwes.or.jp
28日	★第33回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—中級編(時効析出)」(第10回)《Webexミーティングでのオンライン開催》	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp
2022年2月			
4日	★第346回塑性加工シンポジウム「低炭素化社会への取り組み」—CO ₂ の回収、利用、排出減—《Web》	日本塑性加工学会	吉武明英 Tel. 03-3435-8301 yoshitake@jstp.or.jp

	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
5日	鉄の技術と歴史研究フォーラム 第40回講演会(ハイブリッド講演会)「幕末・明治期の鉄研究会 第1回講演会」《会場及びオンライン配信》(東京 本号58頁 申込締切1月21日)	日本鉄鋼協会	幹事 古主泰子 dzs03530@nifty.com
9,10日	★第11回次世代ものづくり基盤技術産業展-TECH Biz EXPO 2022-(愛知)	名古屋国際見本市委員会、名古屋産業振興公社	名古屋国際見本市委員会 Tel. 052-735-4831
24日	★LMPシンポジウム2022 レーザ加工技術の基礎・応用と最新動向《Zoomウェビナー(オンライン)》	日本溶接協会	業務部 下園 Tel. 03-5823-6324 mizuho_shimozono@jwes.or.jp
28日	[ISIJ International]第62巻(2022年)第12号特集号「Advanced Carbon Utilization Technologies and Processes for Sustainably Prosperous Society (持続可能な豊かな社会のための先進炭素利用技術とプロセス)」原稿募集締切(2020年10号656頁)	日本鉄鋼協会	北海道大学 能村貴宏 Tel. 011-706-6842 nms-tropy@eng.hokudai.ac.jp
2022年3月			
7日	★第47回「組織検査用試料の作り方(組織の現出)」講習会～鉄鋼材料・非鉄金属材料・表面改質処理および異常組織材～《オンライン開催》	材料技術教育研究会	Tel. 047-431-7451 jimukyoku@mskoshukai.jp
7～9日	★2021年度量子ビームサイエンスフェスタ《オンライン開催》	KEK物質構造科学研究所、J-PARCセンター他	qbsf2021-office@mlj-parc.jp
9～12日	★2022国際ロボット展(東京)《東京ビッグサイトおよびオンライン開催》	日本ロボット工業会・日刊工業新聞社	日刊工業新聞社 総合事務局 イベント事業部 Tel. 03-5644-7220 irex@media.nikkan.co.jp
11日	★第100回レアメタル研究会《オンライン及び東京大学生産技術研究所》	東京大学生産技術研究所 岡部徹	岡部研究室 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
14日	2021年掲載論文対象の論文賞候補論文の自薦締切(11号696頁)	日本鉄鋼協会	編集グループ Tel. 03-3669-5933
15～17日	第183回春季講演大会(東京 11号694頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
31日	[ISIJ International]第62巻第10号特集号「Strength, Plasticity, and Fracture in Steels: Towards Quantitative Bridging of Experiment and Simulation (鋼の強度・変形・破壊: 実験科学と計算科学の定量的な橋渡しを目指して)」原稿募集締切(10号645頁)	日本鉄鋼協会	豊橋技術科学大学 戸高義一 Tel. 0532-44-6704 todaka@me.tut.ac.jp
2022年4月			
1日	「鉄と鋼」第108巻第12号特集号「鉄鋼材料の摩擦接合技術」原稿募集締切(本号57頁)	日本鉄鋼協会	大阪大学 藤井英俊 Tel. 06-6879-8643 fujii@jwri.osaka-u.ac.jp
2022年5月			
29日～6月1日	The 7th International Conference on Advanced Steels (ICAS2022)(筑波)	日本鉄鋼協会	ICAS2022事務局 ICAS2022Tsukuba@nims.go.jp
2022年6月			
3～5日	★2022年度塑性加工春季講演会《オンライン開催》	日本塑性加工学会	瀧辺淳子 Tel. 03-3435-8301 fuchibe@jstpp.or.jp
2022年7月			
6～8日 予定	★第59回アイソトープ・放射線研究発表会(東京) 東京大学弥生講堂 他 予定	日本アイソトープ協会	学術振興部学術課内 アイソトープ・放射線研究発表会事務局 Tel. 03-5395-8081 happyokai@jrias.or.jp
2022年9月			
4～8日	★アルミニウム合金国際会議(ICA)(富山)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0226 sec.icaal8@pcojapan.jp
4～9日	★第18回液体及びアモルファス金属国際会議(広島)	第18回液体及びアモルファス金属国際会議組織委員会	広島大学大学院先進理工系科学研究科 乾 雅祝 Tel. 082-424-6555 office@lam-18.hiroshima-u.ac.jp
18～21日	★LMPC2022 (The Liquid Metal Processing & Casting Conference) (USA)	TMS	TMS Meeting Services Tel. 1-724-776-9000 mtgserv@tms.org
21～23日	第184回秋季講演大会(九州)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
2022年10月			
16～21日	International Symposium on High-temperature Oxidation and Corrosion 2022(ISHOC-2022)(高松)	日本鉄鋼協会	秋田大学 福本倫久 fukumoto@gipc.akita-u.ac.jp
20日	[ISIJ International]第63巻第7号特集号「Quantitative analysis and modeling of solidification phenomena related to macrosegregation and cast defect (マクロ偏析と鑄造欠陥に関する凝固現象の定量的解析及びモデリング)」原稿募集締切(本号57頁)	日本鉄鋼協会	九州大学 宮原広都 Tel. 092-802-2955 miyahara@zaiko.kyushu-u.ac.jp

	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2022年11月			
22～26日	The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates (SynOre2022) (島根)	日本鉄鋼協会	SynOre2022事務局 synore2022@issjp.com

総 合

2022年度発足研究会Ⅰおよび研究会Ⅱ提案課題の採択結果

2021年11月30日開催の理事会において選考の結果、以下の提案を採択することが決定しました。

研究会Ⅰ（シーズ型）

課 題 名	提案者	推薦組織または公募	研究期間 (年)	支給額 (千円)
	氏 名 (所 属)			
鑄造凝固における欠陥のマルチスケール解析	及川 勝成 (東北大学)	高温プロセス部会	3	13,000
溶融酸化物の熱伝導度計測高精度化	助永 壮平 (東北大学)	高温プロセス部会	3	12,000
溶融めっき皮膜の機能創出に資する構造因子	高田 尚記 (名古屋大学)	材料の組織と特性部会	3	11,000
炭素鋼における切削現象の系統的再解明	生田 明彦 (近畿大学)	創形創質工学部会	3	9,000
高度な技能に基づく鉄鋼分析操作の化学検証	上原 伸夫 (宇都宮大学)	評価・分析・解析部会	3	9,000

研究会Ⅱ（ニーズ型）

課 題 名	提案者	推薦組織または公募	研究期間 (年)	支給額 (千円)
	氏 名 (所 属)			
水素脆化評価法に必須の要素技術の抽出	高井 健一 (上智大学)	自動車用材料検討部会	3	15,000
リン濃縮鉄鋼スラグの肥料化	和崎 淳 (広島大学)	スラグ技術検討WG	3	15,000

第31回（2022年度助成開始）鉄鋼研究振興助成受給者決定のお知らせ

日本鉄鋼協会では、①大学等における鉄鋼研究活性化、②優れた学生が鉄鋼研究に魅力を感じ受給者のもとに参集すること、等を支援するため「鉄鋼研究振興助成」事業を実施している。

第31回（2022年度助成開始）は応募64件のうち、29件の採択を決定した。このうち、19件は35歳以下の若手研究者の申請案件である。なお、若手採択案件のうち、最上位の1件に石原・浅田研究助成の名称を付与した。

研究テーマ	申請分野	研究者氏名	所属／役職（申請時）
石原・浅田研究助成 極低温環境下における高窒素オーステナイト鋼の強度発現機構の解明と低温靱性向上に関する研究	材料の組織と特性	増村拓朗	九州大学 ／助教
微小力学応答に基づく転位核生成に及ぼす固溶元素の影響評価	材料の組織と特性	足立 望	豊橋技術科学大学 ／助教
高炉塊状帯の空隙率分布形成メカニズムの解明	高温プロセス	Andrey Stephan Siahaan	東北大学 ／助教
環境負荷低減のための液中のキャピテーションを利用した多機能性鋼の創製	材料の組織と特性	井尻政孝	東京都立大学 ／助教
画像解析による凍結水溶液と接する鉄鋼材料の腐食過程の定量的評価	評価・分析・解析	稲川有徳	宇都宮大学 ／助教
メゾスコピック製鋼スラグを用いたレアメタル回収	高温プロセス	岩間崇之	東北大学 ／学術研究員
土壌の乾湿繰り返し環境下における鉄鋼材料の腐食モニタリング	材料の組織と特性	大井 梓	東京工業大学 ／助教
Fe-Mn-Al-N系合金中AlNの生成挙動	高温プロセス	小野英樹	富山大学 ／教授
AIを活用したDPステンレス鋼の多軸応力における疲労寿命予測及び破壊メカニズム解明	材料の組織と特性	何 磊	立命館大学 ／助教
In situ陽電子消滅法による純鉄・フェライト系鋼の水素誘起欠陥	評価・分析・解析	Chiari Luca	千葉大学 ／助教
高温水蒸気下における酸化クロム皮膜の破壊力学	材料の組織と特性	郭 妍伶	長岡技術科学大学 ／助教
レプリカ-デジタル画像相関法を用いた9%Niマルテンサイト鋼の低温変形・破壊挙動の解明	材料の組織と特性	古賀紀光	金沢大学 ／助教
革新的メカニズムの固体浸炭プロセスの開発	材料の組織と特性	小茂鳥 潤	慶應義塾大学 ／教授
鉄基強磁性材料中の原子拡散における磁場抑制効果の解明	材料の組織と特性	小山佳一	鹿児島大学 ／教授
BCC鉄におけるナノインデンテーション中のpop-in現象に対する格子欠陥と結晶粒界の影響	評価・分析・解析	佐藤悠治	東京大学 ／助教
局所抵抗加熱を用いた低変形固相接合による鉄鋼との異材接合技術	創形創質工学	佐藤 裕	東北大学 ／教授
疲労損傷モニタリングのためのAE信号の統計モデリング	計測・制御 ・システム工学	白岩隆行	東京大学 ／講師
強磁性鉄合金における磁気弾性効果と塑性ひずみとの関係の解明およびその活用法提案	材料の組織と特性	鈴木 茂	東北大学 ／教授
α 鉄粒界の水素脆化に及ぼす粒界性格・構造の影響	材料の組織と特性	連川貞弘	熊本大学 ／教授
腐食起点無害化による耐食鋼の開発 ：粉末冶金と微小電極を用いた電気化学解析	材料の組織と特性	西本昌史	東北大学 ／助教
共焦点蛍光X線分析法を用いた二酸化炭素雰囲気下におけるコンクリート中鉄筋の腐食挙動観察	評価・分析・解析	松山嗣史	大阪市立大学 ／特任助教
マイクロ力学試験による高硬度鋼のせん断型疲労き裂進展と発達組織の関係の理解	材料の組織と特性	峯 洋二	熊本大学 ／教授
データ科学支援phase-fieldシミュレーションによる結晶粒界および多重点の物性解析	材料の組織と特性	三好英輔	東京農工大学 ／助教
アーク重畳レーザー誘起ブレイクダウン分光法による溶鋼・溶融スラグの成分推定技術の開発	評価・分析・解析	宗岡 均	東京大学 ／助教
ゼロカーボンを実現する炭材内装鉄を用いた炭素循環製鉄原理の創成	高温プロセス	村上太一	東北大学 ／准教授
磁場印加時の液体金属中を上昇する連続気泡の流動評価	計測・制御 ・システム工学	村川英樹	神戸大学 ／准教授
製鋼スラグ抽出液からのリチウムイオン電池の正極材料LiFePO ₄ の製造	サステナブル システム	禹華芳	東北大学 ／特任助教
水素下熱炭素還元法による炭化鉄ナノ粒子の単分散合成とナノ磁性の解明	材料の組織と特性	脇坂聖憲	東北大学 ／助教
深層畳み込み敵対的生成ネットワーク（DCGAN）によるバーチャル複相組織の創成と高解像度化	材料の組織と特性	王 志磊	名古屋大学 ／助教

**「鉄と鋼」第108巻第12号特集号「鉄鋼材料の摩擦接合技術」
原稿募集のご案内（投稿締切：2022年4月1日）**

摩擦接合技術（摩擦攪拌接合（FSW）など）は、金属の融点以下の温度で接合することにより、溶融溶接に伴う課題を軽減できる革新的な固相接合プロセスとして注目されています。本技術により、例えば社会インフラ用鋼構造物の長寿命化の実現や溶接制約条件の緩和による合金元素の活用を通じた新規鋼材を検討し、鉄鋼材料の持つ高いポテンシャルを引き出すことが期待できます。

そこで、2019年に「摩擦接合技術の鋼橋等インフラへの適用性検討」研究会Ⅱが設立され、非溶接耐候性鋼におけるFSW施工性の確認、継手の機械的特性・耐食性に関するデータの取得、さらには従来添加が避けられてきた元素（P、C）を積極的に活用した新しい耐候性鋼の検討が進められてきました。

本特集号においては、研究会における研究成果および広く摩擦接合に関連する研究成果をまとめ、鉄鋼協会の会員各位、一般読者に知っていただくことを目的として、特集号を企画いたしました。本技術に関わる原稿を一般からも広く応募いたしますので、奮ってご応募ください。

1. **スコープ**：各種摩擦接合時に発達する組織や接合部および継手の特性（機械的性質、耐食性など）、これらに及ぼすプロセス条件や合金元素の影響などについて、広い範囲から論文を募集いたします。
2. **投稿締切**：2022年4月1日（日）必着
（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます）
3. **発刊予定**：「鉄と鋼」Vol.108, No.12（2022年12月1日発刊）
4. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、本会Webサイト掲載の「鉄と鋼」投稿規程、執筆要領をご参照ください。
<https://www.isij.or.jp/publication/tetsutohagane.html#tetsu-kitei>
審査は通常の審査方法に準拠します。
5. **企画世話人・問合せ先**：藤井英俊 大阪大学接合科学研究所 教授
TEL. 06-6879-8643 E-mail: fujii@jwri.osaka-u.ac.jp
6. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/tetsutohagane>
電子投稿の操作に関しご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
（TEL. 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp）

「ISIJ International」第63巻 第7号 特集号「Quantitative analysis and modeling of solidification phenomena related to macrosegregation and cast defect（マクロ偏析と铸造欠陥に関する凝固現象の定量的解析およびモデリング）」原稿募集のご案内（投稿締切：2022年10月20日）

各種鋼材の連続铸造法、大型インゴット造塊法、遠心铸造法など様々な铸造法において、铸型の大きさや凝固条件によってV偏析、中心偏析、チャンネル型偏析、バンド状偏析等のマクロ偏析や铸造欠陥が発生する。これらの欠陥は2次加工を困難にし、最終製品の品質の低下を招く。正常な凝固組織品を得るためには、鋼種に含まれる元素の種類に対応したデンドライト成長と濃度分布の解析に沿った凝固現象の理解が必須である。

本特集号では、マクロ偏析やマクロスケールの铸造欠陥の生成機構に関わる最新の研究成果を特集する。一般的な実験以外にも、その場観察、モデル実験、シミュレーション解析を駆使し、偏析や欠陥に関する定量的解析やモデルの提案も含む。3次元解析を駆使した解析、デンドライト間の溶質濃化相の流動現象、ミクロおよびマクロ偏析の解析、铸造欠陥生成のモデリング、偏析制御技術の今後の展開についてなど、幅広い視点から研究成果を募集する。

1. **スコープ**：連続铸造法や大型インゴット造塊法等の各種铸造法に潜むマクロ偏析や铸造欠陥の生成機構を明らかにするため、通常の実験、その場観察、モデル実験、シミュレーション解析等の多種多様な実験と、それらに基づく凝固組織形成機構に関する基礎研究から応用技術開発までの最新の研究成果を収集する。
2. **投稿締切**：2022年10月20日（木）必着
（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます）
3. **発刊予定**：「ISIJ International」Vol.63, No.7（2023年7月発刊）
4. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、本会Webサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。
<https://isijint.net/jp/guide-to-authors/>
審査は通常の審査方法に準拠します。
5. **企画世話人・問合せ先**：宮原広郁 九州大学 大学院工学研究院 教授
TEL.092-802-2955、FAX.092-802-2990（共通）、E-mail: miyahara@zaiko.kyushu-u.ac.jp
6. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/isijint>
電子投稿の操作に関し、ご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
（Tel. 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp）

イベント情報

鉄の技術と歴史研究フォーラム
第40回講演会（ハイブリッド講演会）「幕末・明治期の鉄研究会 第1回講演会」 開催案内

フォーラム座長 平井 昭司

幕末・明治期における日本の製鉄は、たたら和鉄にはない洋鉄の優れたところを自主吸収して近代鉄鋼技術の移植、定着に成功し、西洋の単純移入でない特色ある鉄づくりの基盤を形成させた。本研究会は、和鉄と洋鉄のそれぞれの特性の違いによりこれらの鉄が社会に与えた影響を、文系と技術系が協力し、生産・利用の変化、需要供給と価格、流通などの面からフィールドワーク調査をし、鉄の技術と文化が変貌した面と保持できた面を検討する計画で2020年度に発足した。今回は、コロナ禍のもと十分な活動ができなかったが、得られた結果を報告する。

- 1. 日 時：2022年（令和4年）2月5日（土）10：30～17：30
- 2. 方 式：ハイブリッド〔会場及びオンライン配信（Zoom利用）併用〕
- 3. 会 場：東京工業大学 大岡山キャンパス 大岡山西地区西2号館W241講義室
（〒152-8550 目黒区大岡山2-12-1）
- 4. 交 通：東急大井町線または目黒線 大岡山駅下車 徒歩1分（会場まで約5分）
- 5. 主 催：（一社）日本鉄鋼協会 鉄鋼プレゼンス研究調査委員会 鉄の技術と歴史研究フォーラム
- 6. 協 賛：日本民具学会 日本鉱業史研究会 産業考古学会金属分科会 製鉄遺跡研究会 トキ・タカ基金
- 7. 参加費：無料（コロナ禍での一時対応）
- 8. 参加申し込み：・締 切：2022年1月21日（金）17：00厳守（必ずE-mailで申し込むこと）
・記載事項：下記①～⑥の項目を正確に記載してください。
①氏名、②所属、③郵便番号・住所、④E-mailアドレス、⑤電話番号、⑥会場参加希望の有無
・申し込み先：フォーラム幹事：古主泰子、E-mail dzs03530@nifty.com

参加申し込みをされた方には、開催の数日前頃までにオンライン用のURLまたは会場での参加許可（会場希望が多い場合は、人数を調整させていただきます）をご連絡いたします。
また、第40回フォーラム論文集を事前に発送いたします。

9. 講演プログラム：

10:30～10:40	開会挨拶	フォーラム座長	平井 昭司
	総合司会 運営委員 穴澤 義功 司 会 運営委員 香月 節子		
10:40～11:00	「幕末明治期の鉄」研究活動報告と来年度計画	研究会主査	稲角 忠弘
11:00～12:00	(1)「日本の明治期における近代製鉄業設立史」	東北大学名誉教授	日野 光元
12:00～13:00	昼 食		
	司 会 運営委員 長谷川 渉		
13:00～14:00	(2)「幕末明治期の軍需からみた鉄需要」	軍事史学会会員	寺西 英之
14:00～15:00	(3)「和鉄から洋鉄へー民間における需要拡大の変容」	日本民具学会会員	香月 節子
15:00～15:15	休 憩		
	司 会 運営委員 佐藤 公昭		
15:15～16:15	(4)「下仁田町の地質構造と中小坂鉄山の鉄鉱石」	気象大学校	佐藤 興平
16:15～17:15	(5)「明治期東大卒論からみた明治期の製鉄計画 その1—中小坂鉄山の現地事情」	元新日鉄 稲角 忠弘、元川鉄テクノロジーサーチ	天辰 正義
17:15～17:30	総合討議 閉会挨拶	運営委員 フォーラム幹事	穴澤 義功 古主 泰子

人材募集案内

九州大学 大学院工学研究院 機械工学部門 材料力学講座 助教公募

所 属：九州大学 大学院工学研究院 機械工学部門 材料力学講座

専門分野：固体力学に関する研究（例えば、各種構造材料の疲労破壊、水素脆化、静的破壊等の実験・評価、および計算力学などによるそれらの解析、さらに強度評価手法の開発）

担当科目：工学部機械工学科にて、材料力学関連科目（機械工学実験第一など）を担当（英語による科目も含む）

応募資格：博士の学位を有する方（着任までに取得見込みを含む）、大学・大学院で教育・研究指導を行う能力を有する方。

着任時期：採用決定後できるだけ早い時期

勤務形態：常勤（任期なし）、試用期間あり（3か月）

公募締切：令和 4年 2月28日（月）必着

選考方法：書類による一次審査の後、面接（プレゼンテーションを含む）による二次審査を実施します（面接の際の旅費は支給しません）。なお、面接はオンラインで実施する場合があります。

応募書類提出先および問合せ先：〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

九州大学 大学院工学研究院 機械工学部門 教授 濱田 繁

電話：092-802-3061、FAX：092-802-3255

E-mail：hamada@mech.kyushu-u.ac.jp

提出書類等詳細につきましては以下を参照してください。

<http://kobo.jimu.kyushu-u.ac.jp/pdf/202111151139.pdf>



次号目次案内

* 定期刊行物の掲載記事及び題目は変更になる場合があります。

ふえらむ Vol.27 (2022) No.2 掲載記事

Techno Scope

IT社会を支える情報インフラデータセンター

連携記事

データセンターに適用される主な建築・設備技術
..... 大谷淳一((株)大谷技術事務所)

入門講座

伝熱工学-3

ふく射伝熱
..... 櫻井 篤(新潟大学)

躍動

高温融体に関わる研究を通じて
..... 高平信幸(日本製鉄(株))

私の論文

SUS304鋼の双晶起因水素脆化-マイクロ材料試験と結晶学的解析を駆使して-
..... 植木翔平(島根大学)

解説

受賞技術-35

大型鍛鋼品の靱性予測技術の構築と強度-靱性バランスおよび溶接性に優れた海洋構造物用鋼の開発
..... 本間祐太(日本製鋼所M&E(株))

わたしたちのけんきゅうしつ

IT×材料
..... 塩谷晃平(名古屋大学)

「鉄と鋼」Vol.108 (2022) No.2 掲載記事

論文

加工・加工熱処理

温度および摩擦制御によるNi基超合金(Alloy720Li)の熱間均一圧縮試験
..... 堀越理子、他

表面処理・腐食

アルカリジネート浴からのZn-Ni合金電析挙動に及ぼす浴温の影響
..... 裴 聖和、他

力学特性

δ フェライトを有する12Cr-5.4W鋼のクリープ破断強度に及ぼす冷間圧延の影響
..... 佐藤雄大、他
フェライト組織鋼の靱性に及ぼすCの存在状態と固溶Nの影響
..... 吉村信幸、他
析出硬化型高Mnオーステナイト鋼の水素脆化挙動に及ぼすNi含有量および時効熱処理の影響
..... 細田 孝、他

ISIJ International Vol.62 (2022) No. 2 掲載記事

Special issue on “Lamellar Structure in Structural Metallic Material and Its Mechanical Property”

Preface

Preface to the Special Issue on “Lamellar Structure in Structural Metallic Material and Its Mechanical Property” Y. Kimura

Regular Articles

Dynamic accommodation of internal stress and selection of crystallographic orientation relationship in pearlite N.Nakada *et al.*
Formation mechanism of pearlite colony by multiple orientation relationships between ferrite and cementite S.Endo *et al.*
Three-dimensional quantitative evaluation of the lamellar curvature in pearlitic steel based on an orientation analysis of cementite M.Kosaka *et al.*
Characterization and optimization of pearlite microstructure using persistent homology and Bayesian optimization K.Kiyomura *et al.*
 δ -pearlite reaction by carburization in Fe-Cr binary alloy N.Nakada *et al.*
Effect of block size on the reduction rate of dislocation density during tempering treatment of lath martensite in low alloy steel Y.Arai *et al.*
Improvement of shape memory effect by optimizing thermal and mechanical $\gamma \rightarrow \epsilon$ martensitic transformation by hot rolling T.Sawaguchi *et al.*
Grain subdivision mechanism for constructing lamellar microstructure in cold-rolled ultra-low carbon steel T.Morikawa *et al.*

- Molecular dynamics simulation of the effect of cementite decomposition on yield phenomena in pearlite microstructure
T.Shimokawa *et al.*
- Inhomogeneity of plastic deformation after yielding in low-carbon martensitic steels
M.Tanaka *et al.*
- True stress-true strain relationship up to the plastic deformation limit in ferrite-pearlite steel at various temperatures
N.Tsuchida *et al.*
- Preferable resistance against hydrogen embrittlement of pearlitic steel deformed by caliber rolling
Y.Kimura *et al.*
- Influence of thermomechanical treatment on delayed fracture property of Mo-bearing medium-carbon steel
T.Moronaga *et al.*
- Influence of annealing microstructure on the low-cycle fatigue properties and fatigue microstructure of a Fe-15Mn-10Cr-8Ni-4Si seismic damping alloy
I.Nikulin *et al.*

Note

- Annealing time effects on mechanically long fatigue crack growth of TRIP-maraging steels
T.Mizoguchi *et al.*
- Influence of annealing on delamination toughening of Mo bearing medium-carbon steel with ultrafine elongated grain structure processed by warm tempforming
Y.Kimura *et al.*

会 員 欄

新規入会

津野 知
水田 直気
木之本 剛
佐伯 真
富成 雄大
北出 充

佐々木 隆志
今中 一雄
藤原 誠敬
上原 友輔
松崎 悠弥
佃 宣和
鬼頭 琢也
喜多 昭仁
丹羽 俊之
林 洋彰
関本 総裕

小川 ひろ
鷺島 光一朗
石垣 優
石垣 和也
加藤 文隆
多田 睦
横山 ヒロユキ
小山 拓弥
西口 直
平林 悟
服部 竜大

野田 裕司
後藤 ひかる
吉泉 瑛
宮本 章弘
阿部 哲志
千羽 克征
猪刈 俊輔
稲熊 勇人
乾 昌広
山口 雄大
小谷野 哲郎

川上 浩司
堂園 和馬
山口 耕作
伊藤 大貴
野口 美紀子
二村 泰史
久馬 将太郎
亀田 晃希
元吉 笙太
山田 琢也
永井 孝典

原田 淳史
高谷 光基
高橋 博治
中西 健
河村 伸吾
野崎 晃太
伊藤 智哉
小林 正樹
墨田 岳大
生野 孝幸
土屋 雅季

柳川 遼平
柴田 明道
鳥越 祥宏
田中 孝憲
福士 達也
武田 憲洋
齋藤 智広
PHAN, Le
Quang

